



新型コロナウイルス感染防止のため

『書面会議』にて前年度活動報告と新年度事業計画を承認

新型コロナウイルスの蔓延により、数々の不自由な自粛生活が求められています金浦地区の皆様方に対しまして先ずお見舞いを申し上げます。幸いにも私どもの地区ではウィルスの罹患者は発生していませんが、東京を中心とした関東地区などの様子を伺いますとまだまだ収束には至っていないようなので、“アマビエ”の力を借りたい思いです。

政府広報にもありますように、お互いが3密を避けると共に”咳エチケット”や”手洗い”等を励行し感染防止に努めましょう。また、マスク着用が定着化してきたようですが、反面でマスクの着用は熱中症のリスクも高まるようです。蒸し暑い日々が続いていますが、適宜水分を補給し、感染症に加えて熱中症にもならないように日々注意を払ってお過ごし下さい。

感染症防止の観点から、令和2年5月31日付書面会議により行われた令和2年度の総会決議により、令和元年度の事業及び決算報告並びに令和2年度の事業及び予算計画が提示され、可決されましたのでその概要を次に部会毎に紹介します。



【アマビエ】

1 企画部会

(1) 公民館事業との共催

公民館の主要3行事である“敬老会”“地区民体育祭”“芸能文化祭”に対して、人的及び資金的支援を通して共催し、地域活性化の一翼を担ってきました。今年度は、新型コロナウイルスの感染防止のため、残念ながら11月に予定されている芸能文化祭を除いた全ての行事が中止されることになっています。(芸能文化祭の開催可否については、7月中に決定される予定)

(2) 地域の高齢化対策事業

ア 買い物支援(買い物タクシー運行)事業

この事業は、日頃、買い物に不便を感じている高齢者のグループに対して資金援助を行う事業です。平成28年度より実施しており、吉浜の袖解地区の皆さんが利用されています。コロナ対策上4月・5月は中止しましたが、6月からマスク着用で再開しました。

イ ワイヤレスコール機器貸出事業

独り暮らし高齢者の緊急時の連絡手段として、近接世帯に小型無線機で連絡できるワイヤレスコール機器の貸出を行っています。現在、旭が丘と鉄南地区の2カ所で運用されています。

アマビエとは、江戸後期に作成された瓦版に記載されており、肥後国(現在の熊本県)の海に夜ごと光物が出現し、「アマビエ」と名乗ったうえ、「当年より6年間諸国で豊作が続くが、同時に疫病が流行するので私の姿を描いた絵を人々に見せるように」との予言を残して海に帰ったと伝えられている



【アマビエ】

上記のいずれの事業も、導入を希望される地区は、まち協関係者まで申し出て下さい。

(3) まちづくり協議会を構成する各種団体とのあり方についての協議

現在のまち協を構成する各種団体の活動には、重複して行われているものが散見されるのが現状です。現在金浦地区では、まち協代議員と行政協力委員等の各種団体委員が互いに兼務しているため何とか機能しますが、今後各委員や地区民の高齢化や地区人口の減少に伴い将来の活動に不安が残ります。まち協防災活動の一例として、今年度から、まち協の防災部会代議員は、各地区の自主防災会からの代表者から選出していたこととしました。このようにまち協と各種団体の関わり方を見直すことにより活動の効率化が図れることとなります。

今後も重複した活動等を見直すと共に、効率的な活動となるように検討していきます。

2 防災部会

(1) 防災・減災研修会及び避難訓練等の実施

まち協では、各地区ごとに原則として2年に1回防災訓練や研修会を実施しています。令和元年度は、生江浜、金浦鉄南、吉浜南、大河の4地区で実施しましたが、今号では、広報誌11号で紹介した生江浜地区をのぞいて各地区の実施概要を紹介します。

なお、令和2年度は、生江浜、金浦鉄北、吉浜北、相生の4地区で防災研修会を計画していますが、新型コロナウイルス感染状態やその影響を考慮して実施に移すこととしています。

ア 金浦鉄南地区で初期消火・避難訓練を実施

金浦鉄南地区では、笠岡消防組合職員及び金浦消防分団員の指導により、令和元年12月1日(日)午前9時30分から地域住民約60名が参加して、初期消火訓練と避難訓練を実施しました。



【金浦鉄南地区で行われた 避難訓練と消火栓接続訓練】

イ 吉浜南地区・大河地区でも

防災研修会を開催

令和元年12月22日(日)10時から吉浜記念館で約50人が参加して防災研修会が開催されました。

平成30年7月7日吉浜地区を襲った西日本豪雨(床上浸水27世帯、床下浸水51世帯が被災)被害の体験をもとに、防災・減災・避難等に関する知識を皆で学びました。



【吉浜南地区で行われた 防災研修】

【研修メニュー】

- ・笠岡市危機管理課職員講師による防災講話と映像視聴
- ・避難所における段ボールベッドの組み立てと使用方法
- ・消防署職員及び金浦消防分団員による水消火器による初期消火訓練と消火栓接続訓練



【吉浜南地区で行われた 段ボールベッドの組み立てと初期消火訓練】

大河地区でも令和2年1月26日(日)9時から大河公民館に地域住民35名が参加して、「土砂災害に対する備え」を中心にした研修会を開催しました。

【研修メニュー】

- ・笠岡市危機管理課職員講師による防災講話と「土砂災害の備え」映像視聴
- ・災害時における発電機などの使用訓練
- ・消防署職員及び金浦消防分団員による水消火器による初期消火訓練と消火栓接続訓練



【大河葛城神社境内 初期消火訓練と大河公民館での防災研修風景】

(2) 「災害時要支援者」に対する個別支援計画書を作成

平成30年7月西日本豪雨による被災により、防災・減災意識が高まっている金浦地区で、まち協防災部会と笠岡市地域福祉課が中心となって地区行政協力委員及び民生委員の協力をいただき8月から年度末にかけて、災害時要支援者の「個別支援計画書」を作成しました。これは、災害の発生時に高齢や障害があるために一人では迅速な避難行動が困難な方のため、予め複数人の地域支援者と共に登録を行い、具体的な支援方法を定めておくことにより、いざという時の減災に寄与できるものとなっています。

また、この「個別支援計画書」の作成により、従来からの市危機管理課や笠岡消防組合が作成していた関係データの一元化が図られ、「自助・共助・公助」の体制が強化されることを期待しています。

現在金浦地区の要支援者登録数は144人となっていますが、適宜支援計画の見直しと共に、今後防災研修時に運用訓練も行う予定です。今回了承をいただいた地域支援者の皆様には、要支援者の方々へ日頃からの支援の輪を広げておいていただきますようお願いいたします。



(3) 防災用資機材の主な配備状況

防災部会では、各種災害に備えて「防災用資機材」を整備してきました。現在地区毎に、配備されている防災用資機材の主なものは次のとおりです。

下表以外にも、懐中電灯、給水タンク、消火器、スコップ、つるはし等の資機材も配備しています。

いざという時に十分活用できるように、日頃から自地区の配備物品についての確認や整備を、こころ掛けるようにお願いします。なお、防災資器材については、予算の関係から必要度の高い物品から順次整備することとしていますので、これらに関してお気づきの事柄があれば最寄の防災部会員若しくはまち協議員までお知らせ下さい。

※地区毎の主な防災用資機材配備内訳

令和2年7月現在

地区・保管箇所	保管責任者 連絡先	主な防災用資機材配備数													
		資機材倉庫	ハンディマイク	発電機	投光器	チェンソー	ジャッキ	ブルーシート	担架	一輪車	リヤカー	救急セット	脚立	毛布	テント
金浦 鉄南 (ようすな会館)	筒井 清人 66-4461	(1) 2	2	(1) 1	(2) 2	(1) 1	(2) 2	(2) 2	(1) 2	2	(2) 2	1	1	(10) 12	1
金浦 鉄北 (八幡神社参道横 新川会館横、 郵便局前)	谷本 弘太郎 66-2469	(2) 3	1	(1) 1	(2) 2	1	(5) 5	(2) 2	(2) 2	(4) 5	(3) 3			(10) 10	1
吉浜 北 (古比須公会堂 銀山公会堂)	増成 忠雄 66-3271	(2) 3	2	(2) 2	(4) 4	1	(4) 4	(2) 2	(2) 2	2	(3) 3	2		(10) 10	1
吉浜 南 (吉浜駐在所横)	北川 正之 66-0958	1	3	1	(2) 2		(2) 2	(2) 2	(1) 2	2	(2) 2	2	1	(10) 10	1
生江浜 (生江浜会館前 迎西地区、 ニュータウン、 館東広場)	高田 泰紀 66-0047	(3) 5	14	(3) 4	(6) 11	1	(7) 7	(2) 2	(3) 4	(4) 6	(4) 4	1	1	(10) 10	1
旭が丘 (集会所横公園)	高橋 邦彦 66-1055	(1) 2	4	(1) 1	(2) 2	1	(2) 2	(2) 2	(1) 2	(2) 2	(2) 2	4	1	(10) 20	1
大河 (迫集会所、 消防団1部 機庫前)	塩飽 義史 66-1661	(3) 4	1	(1) 2	(4) 4	2	(4) 4	(2) 2	(2) 3	(2) 4	(3) 3	1		(10) 20	1
相生 (相生公会堂東)	高細 道昭 66-1452	(1) 3	2	1	(2) 2	1	(2) 2	(2) 2	(1) 2	2	(2) 2	2	1	(10) 10	1
地区合計		(13) 23	29	(9) 13	(24) 29	(1) 8	(28) 28	(16) 16	(13) 19	(12) 25	(21) 21	13	5	(80) 102	8

※ 配備数上段()の数値は、まちづくり協議会の予算で購入した資機材の数(再掲)を示す。

3 交通・防犯部会

(1) 小学校児童下校時の見守り活動を継続して実施

交通防犯部会では、継続して小学校下校時の見守り、防犯パトロールを実施していますが、更に充実を図るため毎日の下校時間を関係隊員に周知徹底を行う等、小学校との連携を強化した活動を継続できるように取り組みを進めています。

しかし本年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、子供達も年度末から新年度にかけて休校を余儀なくされ、しかも度々の休校延長で家庭、学校等は今まで経験したことのない大変な思いをされています。次世代を担う子供達を見守っていくため、ご協力頂ける方々の参加のお申し出をお待ちしています。



【相生・古比須地区木ノ目橋付近下校時見守り】



【旭が丘地区吉浜踏切付近下校時見守り】

(2) 青色防犯パトロールも継続実施

青色防犯パトロール隊員は現在、総勢24名で青パト装備車10台で活動しています。年3回の小学校一斉下校時には、全体パトロールを実施しています。金浦・吉浜の駐在所からはもとより、笠岡署パトロール隊にも参加を頂いております。



【青パト隊員出発前の出・欠確認】



【校門前小学校一斉下校】

(3) 通学路整備

ア、グリーンベルト設置及び整備

地区児童、生徒の登下校時の交通安全対策としてグリーンベルトを設置しています。



【土手下道地区グリーンベルト及び学童注意を設置】



【銀山地区グリーンベルト及び白線を設置】

イ、カーブミラーの点検調査

金浦まち協交通防犯部会は、地区の小中学校児童生徒の登下校時の交通事故防止の観点から、通学路を主体としてカーブミラーの現況について調査を行いました。

その結果は下表のとおりですが、各地区で清掃してもきれいにならないものや老朽化が進み亀裂や鏡の破損個所が散見されました。このうち児童生徒の交通事故防止対策上必要と思われる11箇所について、6月下旬に笠岡市長あて改善要望書を提出しました。

・カーブミラー点検結果

地 区	装備数	支柱部の老朽化		ミラーの老朽化		そ の 他
		全 体	支持部	亀裂、割れ	汚れ大	
鉄 南	14	0	0	1	2	※汚れ大とは 清掃しても汚れが とれない箇所
鉄 北	17	0	0	0	1	
吉 浜	33	0	6	1(枠)	0	
生 江 浜	35	0	1(腐食)	3(枠)	6	※一部通学路以外を 含む地区があります
旭 が 丘	17	0	1(腐食)	1(割れ)	0	
大 河	11	0	1(錆)	0	0	
相 生	5	1	0	0	0	
合 計	132	1	9	6	9	

4 環境部会

(1) 空き家調査の現状について

令和元年10月より前回調査(平成29年度)をベースにして金浦学区の行政協力委員、まち協メンバーのご協力をいただき、空き家調査を実施し、笠岡市関係課に報告しました。

ア、都市計画課(危険家屋の対応)

H31(R1)年度

特定空き家等認定(認定されれば補助金が出ます)

市内8件(うち金浦学区4件 内訳 生江浜1件、金浦鉄北1件、吉浜2件)

R2年度

特定空き家等認定(6月15日現在)(認定されれば補助金が出ます)

市内6件(うち金浦学区4件 内訳 生江浜1件、金浦鉄北2件、吉浜1件)

R2年度は、6月時点で除却補助事業件数が既に前年度に並ぶなど、住民の皆様の関心の高さを感じています。

特に金浦学区の案件は、金浦まちづくり協議会からの情報提供等、御協力をいただく中で、市内でも除却件数の割合を大きく占めています。

未解決の案件も多くありますが、今後も粘り強く解決に向けて取組んでまいります。



【金浦鉄北地区空き家撤去の一例】

イ、定住促進センター(住める空き家の対応)

笠岡市空き家バンク登録制度が開始(H21)してから令和元年3月までの契約件数、異動人員共に金浦学区がトップとなっています。(但し、全てがまち協調査案件ではありません)

まち協で調査した空家に
令和2年6月引越してきた2人にアンケートを実施!

1. なぜ笠岡の金浦を選んだのですか?

移住する場所を選ぶにあたって、近くに断層がないことなど、地震や津波の被害が出にくい場所を選ぼうと考えました。それに、個人的な希望であった海の近くであることや、都心部等へ足を伸ばすために交通の便が良いところなどを加味した結果、現在の家を選びました。また笠岡市は住居の選択肢が多かったのも、自分達の求めている条件にあったものを選択できたと思います。

2. 住んでみた感想は如何ですか?

周囲の方々も朗らかでとても住みやすい場所と感じます。交通手段が主に自転車なのですが、雨も少ないので、だいたいいきたい場所には自転車だけでも問題ありませんし、遠出するときは駅が近いのでとても便利です。また広場や公園が多いので、散歩やランニングが捗りますし、夜は天体観測できそうなスポットがたくさんあるので冬が楽しみです。それから個人的な感想になりますが、同居人がキャンパスで絵を描くのでワンルームマンションではなく、やはりそれだけのスペースがある一軒家にしてよかったと感じています。



5 広報部会

前年は、7月・1月に広報誌を発行すると共に、芸能文化祭で各部会の活動計画や実績を紹介しました。今年度は”コロナ”により広報誌12号の発行が1ヶ月遅れまして、関係者にご迷惑をお掛けして申し訳ありません。引き続き協議会のPR活動に努めますので、広報誌等についてのご意見を頂戴できれば幸いです。

6 各種打合せ会議等の開催状況

代議員総会	1回 (R元,5,26)	防災部会	5回
役員会(理事会)	1回	広報部会	4回
総務会	2回	交通・防犯部会	5回
企画部会	6回	環境部会	5回

7 令和元年度まちづくり自治協議会決算報告と令和2年度予算

(数値単位:円)

収支区分	令和元年度		令和2年度 予算額 C	増減比較		備考
	予算額 A	決算額 B		B - A	C - B	
【収入の部】						
収入計	1,757,000	1,756,538	1,689,000	△ 462	△ 67,538	運営交付金
笠岡市交付金	1,753,000	1,753,000	1,688,000	0	△ 65,000	
前年度繰越金	3,532	3,532	258	0	△ 3,274	
その他収入	468	6	742	△ 462	736	
【支出の部】						
経費計	1,757,000	1,756,280	1,689,000	△ 720	△ 67,280	会長・事務局手当他
人件費	800,000	780,000	800,000	△ 20,000	20,000	
運営費	477,000	438,628	413,000	△ 38,372	△ 25,628	R1、R2パネル購入
備品購入費	300,000	285,120	300,000	△ 14,880	14,880	
食糧費	30,000	16,200	30,000	△ 13,800	13,800	会議お茶代
事務費	147,000	137,308	83,000	△ 9,692	△ 54,308	コピー用紙、トナー他
活動費	480,000	537,652	476,000	57,652	△ 61,652	防災訓練、研修会 広報誌、公民館事業共催 買物支援事業、防災雑品
活動費	480,000	537,652	476,000	57,652	△ 61,652	
備品購入費				0	0	
【差引残高】	0	258	0	258	△ 258	
笠岡市返還金	0	0	0	0	0	
次年度繰越金	0	258	0	258	△ 258	

令和2年度 金浦まちづくり自治協議会、役員・代議員の紹介

地区・団体	番号	代議員・役職			部会毎の担務内訳					備 考
		旧 氏 名	新 氏 名	役 員	企画 部会	防災 部会	広報 部会	交通 防犯	環境 部会	
金浦鉄南	1	上田 寛治	上田 寛治			○				金浦鉄南自主防災会副会長 部会毎の担務欄の ○印は、所属部会を示す ◎印は部会長 ●印は副部会長
	2	森本 雅彦	佐藤 弘					○		
	3	筒井 清人	筒井 清人	理事(副会長)			◎			
	4	谷 安信	高田 尚子		○					
	5	八杉 朋幸	八杉 朋幸					●		
金浦鉄北	6	谷本 弘太郎	妹尾 敬子		○					金浦鉄北自主防災会副会長
	7	小林 邦生	小林 邦生	理 事		○				
	8	小川 孝志	小川 孝志					○		
	9	長安 正巳	塚原 早苗						○	
	10	村上 迪紘	村上 迪紘				○			
吉 浜	11	岡本 重文	岡本 重文	理事(会長)	○					吉浜南自主防災会会長 吉浜北自主防災会会長
	12	高橋 章治	高橋 章治					○		
	13	北川 正之	北川 正之	監 事		●				
	14	長尾 寛志	長尾 寛志					○		
	15	増成 忠雄	増成 忠雄			○				
生 江 浜	16	松浦 公平	松浦 公平						○	生江浜自主防災会副会長
	17	高田 泰紀	高田 泰紀	理 事	○					
	18	藤井 一男	三谷 隆一			○				
	19	藤井 恒信	藤井 律夫					○		
	20	清水 達男	伴 崇					○		
旭が丘	21	高田 英志	高田 英志						●	笠岡市自主防災連絡協議会長
	22	山名 修	藤井 孝浩						○	
	23	高橋 邦彦	高橋 邦彦	理 事		◎				
	24	溝渕 律雄	溝渕 律雄	監 事			●			
	25	亀岡 智宏	亀岡 智宏		●					
大 河	26	田淵 進	田淵 進					◎		大河自主防災会副会長
	27	藤原 一雅	藤原 一雅					○		
	28	塩飽 直紀	塩飽 直紀	理 事	◎					
	29	黒田 近匡	藤原 章秀			○				
	30	塩飽 英男	塩飽 英男						○	
相 生	31	塩飽 正巳	塩飽 正巳					○		相生自主防災会会長
	32	平井 輝久	平井 輝久	理事(副会長)					◎	
	33	丸山 悦二	丸山 悦二		○					
	34	八杉 昌一郎	八杉 昌一郎					○		
	35	高細 道昭	高細 道昭			○				
金浦公民館	36	長谷川 泉	長谷川 泉					○		金浦公民館長
	37	清水 正毅	清水 正毅	理 事	○					
社会福祉協議会	38	筒井 美智子	大友 倫子		○					金浦公民館審議委員 笠岡市社協金浦支部長 社協金浦支部会計担当
	39	藤井 義明	藤井 義明	理 事	○					
金浦小PTA	40	松浦 香代子	松浦 香代子		○					金浦小PTA副会長 金浦小PTA副会長
	41	三宅 真由美	平田 章子					○		
消防団金浦分団	42	浅野 茜	北殿 友里					○		消防団金浦分団長
行政協力委員会	-	岡本 重文	岡本 重文							金浦地区行政協力委員長
地区自主防災会	-	高橋 邦彦	高橋 邦彦							笠岡市自主防災連絡協議会長
民生児童委員協議会	44	原田 美佐子	原田 美佐子					○		金浦地区主任児童委員
愛育委員会	45	藤井 康子	小林 三枝子		○					金浦地区愛育委員会
栄養委員会	46	三谷 みどり	三谷 みどり			○				金浦地区栄養委員長 金浦地区栄養委員副会長
	47	樋之津 則子	樋之津 則子			○				
更生保護女性会	48	高田 芳子	高浦 和子					○		更生保護女性会
事務局	49	高橋 真笑	中塚 正子					○		更生保護女性会
		内尾 裕二	内尾 裕二							

顧 問

所属・役職	氏 名	備 考
金浦保育園 園長	木村 和子	
金浦小学校 校長	前田 知之	
金浦中学校 校長	浅海 直哉	
笠岡学園 理事長	坂本 公明	
笠岡市議会議員	藤井 義明	
笠岡市議会議員	樋之津 倫子	
笠岡市議会議員	東川 三郎	
金浦駐在所	三浦 崇史	
吉浜駐在所	林 良彦	

笠岡市地区担当職員

所 属	氏 名	備 考
地域福祉課	三島 哲利	
都市計画課	土井 一喜	
水道課	國司 知之	

※ 令和2年度に代議員、顧問の一部の方が交代しました。
交代された方々については、太字ゴシック体で表記しております。
これからの一年間宜しくお願い致します。